

「特別支援学校におけるICF及びICF-CYについての 認知度・活用状況等に関する調査」実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
専門研究A「特別支援教育における
ICF-CYの活用に関する実際研究」

1. 目的

特別支援学校における ICF 及び ICF-CY についての認知度・活用状況とその成果と課題について把握するとともに、より実際の ICF-CY 活用の方法論とそれらを支える理解啓発や研修の在り方等を検討するための資料とすることを目的としています。

2. 調査の内容

- (1) 第1部 [調査対象校の基本情報]
 - ① 学校の名称
 - ② 学部障害部門毎の幼児児童生徒数
 - ③ 寄宿舎及び併設の医療・福祉施設等の有無
- (2) 第2部 [ICF 及び ICF-CY に関する内容]
 - ① ICF 及び ICF-CY の認知度について
 - ② ICF 又は ICF-CY の活用状況について

3. 回答いただく方

ご回答いただく方は、校長（分校、分教室の長）あるいは、校長（分校、分教室の長）が指名する教職員で、本調査に関わる学校（分校、分教室）の全体の状況を把握する立場にある方を想定しています。

4. 調査の基準日

- (1) 学校の基本情報について
平成 21 年 5 月 1 日とします。
- (2) 調査各項目について
平成 20 年 4 月 1 日以降、調査回答日までの状況についてご回答ください。

5. 回答期限

平成21年8月24日を目安としてご返信・ご返送ください。

6. 回答方法

以下のいずれかの方法で回答の返信・返送をお願いします。

- ① 調査票の電子媒体（Microsoft Excel）に記入し、電子メールで返信する。
- ② 調査票に記入し Fax により返信する。
- ③ 調査票に記入し郵便により返送する。

(1) 調査票の電子媒体（Microsoft Excel）に記入し、電子メールで返信する場合

- ① 調査票の電子媒体（Microsoft Excel）を本研究所の Web サイトからダウンロードする。
本研究所 Web サイトトップページ (<http://www.nise.go.jp/>) → [研究内容] → [専門研究A] → [特別支援教育における ICF-CY の活用に関する実際研究 (http://www.nise.go.jp/blog/2009/05/post_202.html)]
- ② 電子媒体（Microsoft Excel）の調査票に記入する。
- ③ 記入した電子媒体のファイル（Microsoft Excel）次の e-mail アドレスに送信する。
送信先 e-mail アドレス v-icfchosa@nise.go.jp

(2) 調査票に記入しFaxにより返信する場合

- ① 調査票に記入する。
- ② 次の Fax 番号に送信する。Fax : 046-839-6919 （調査専用）

(3) 調査票に記入し郵便により返送する場合

- ① 調査票に記入する。
- ② 同封の返信用封筒にて返送する。

[本調査票の返送・返信先及び問い合わせ先]

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
〒239-8585 横須賀市野比5-1-1

専門研究A「特別支援教育における ICF-CY の活用に関する実際研究」

本調査主担当 松村 勘由 （教育支援部）総括研究員 （研究副代表）
Tel 046-839-6870 e-mail:v-icfchosa@nise.go.jp
担当 徳永亜希雄 （教育支援部）主任研究員 （研究代表）
Tel 046-839-6872 e-mail:v-icfchosa@nise.go.jp

※ なお、以下の Web サイトにて、本調査に関する情報の提供及び調査結果の報告をさせていただきます。
[特別支援教育における ICF-CY の活用に関する実際研究 (http://www.nise.go.jp/blog/2009/05/post_202.html)]